

平成30年7月10日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
葦山営農センター

第2回 (7/10号)

水稻病虫害発生予察の結果について

①生育状況

現在、平坦地は分けつ期に入っており、概ね例年通りの生育となっております。葦山地域 20本前後、長岡地域 25本前後の茎数が確認できました。神島、山間地では、中干しに入っている圃場が見られました。

②害虫状況

ウンカ・ヨコバイの発生状況については、被害が出る程の発生は見られておりませんが、先週の予察時よりも徐々に増えてきております。今後の発生動向に注意して下さい。

先週、ジャンボタニシの発生が確認されている葦山地区の寺家の予察圃場での食害はないように見られました。

③その他

いくつかの圃場で、ヒエ・オモダカ・クログワイ等の雑草の発生が確認されました。雑草が見える圃場では、下記を参考に中期剤散布をご検討下さい。

④資材紹介

【除草剤】

- **アクシズMX 1kg/10a** 移植後7日～収穫45日前まで 本剤1回
ノビエは4葉期まで、イグサの系統は草丈10cm程度まで効果あり。
散布後は、湛水状態で3～4日は、その状態を保つように心掛ける。
 - **セカンドショット 小包装(パック) 20個/10a** 移植後20日～収穫45日前まで 本剤1回
ノビエは3.5葉期まで、コナギ、オモダカ等にも効果あり。
ジャンボ剤は、水深が浅いと拡散不良による薬害が生じるおそれがあります。
散布後は、湛水状態で3～4日は、その状態を保つように心掛ける。
 - **バサグラン粒剤 3～4kg/10a** 定植後15～55日(収穫60日前まで) 本剤1回
足跡に水が残る位まで、水を抜いてから散布。
散布後も3日は水を入れず、雨が降らない日を狙う。
- ※除草剤の種類に関わらず、散布後7日間は、落水をしないで下さい。

【肥料】

- **ケイ酸加里 20kg/10a** 倒伏防止、食味向上。
※ おおよそ、穂が出る1ヶ月半前に散布。(葦山は7月中旬頃)

問い合わせ：葦山営農センター 佐藤 055-949-0055